



青葉匂う

四日市市立港中学校通信

平成30年度 第18号

12月3日(月)発行

園児から笑顔をもらった保育実習！！

11月12日(月)3年B組、16日(金)3年A組が、家庭科の授業の一環として、浜田保育園で保育実習を行いました。

日本の中学生は諸外国と比べて幼い子どもと接する機会が極端に少なく、その状況のまま、将来育児を行うことが多く、育児ストレスで悩んでしまうと言われています。

この授業は、中学生が男女問わず、幼い子どもと接することにより、子育ての意義や家庭を持つことの重要性を学ぶことを目的にしています。中学生はこの実習を通じて、園児の皆さんからたくさんの笑顔をもりました。同時に子どもを育てることの苦勞もわかりました。実習後の家庭科の授業では、「次世代の親の育成」という視点で振り返る計画です。



人権講演会にお越しください

12月6日(木)14時～本校体育館で、中部地区人権推進協議会との共催事業として人権講演会を実施します。本年度の講演内容は「知っていますか？差別をなくすためにつくられた三つの法律」です。講師は、公益財団反差別・人権研究所みえ調査研究員 原田朋記さんです。

このよう講演会が地域の方々との共催事業として開催できることは大変喜ばしいことです。この講演会には、浜田小学校6年生も参加する予定です。当日の体育館は冷えますので、児童や生徒は防寒のためにウインドブレーカーや座布団類の使用を認めています。保護者の皆様も防寒対策をして、是非この機会にお誘い合わせの上ご参加してください。

姿勢についての講演会にお越しください

12月21日(金)8時55分～本校体育館で、学校保健委員会が主催して講演会を実施します。本年度の講演内容は「姿勢について」です。講師は、KCS センター四日市姿勢科学士 中畑富行さんです。

本校では、授業中、机に肘をついたり、斜めに座っていたり、机の下で足がよく動いたりする生徒が結構いて、4月当初より心配をしていました。姿勢の悪さは脳の働きを妨げ、学習に悪影響を及ぼすだけでなく、人体の成長にも悪影響を及ぼします。特に中学生は、最も体幹づくりを大切にしなければいけない時期でもあります。このような現状を踏まえ、体に良い生活習慣を意識するようになってもらいたいという思いを込めて講演会を企画しました。また講演会の中で、生徒会保健委員会が実施した生徒アンケート結果の発表も予定しています。保護者の皆様も、是非この機会にお誘い合わせの上ご参加ください。

生徒の活躍

大会等	学年	名前	受賞
三泗地区中学校英作文コンテスト	3年	西川菜々子	努力賞
健康に関する作文	1年	加藤 諒真	佳作
	1年	瀬津 有梨	佳作
	1年	福井 真帆	佳作
	3年	松田幸志郎	佳作
	3年	生川 怜奈	佳作

生徒の皆さんは期末テストが終了し、ほっとしたのも束の間、テスト返しがあり、2学期の成績が気になる時期を迎えました。これまで授業だけでなく家庭学習にしっかり取り組んだ人は、その努力の成果が楽しみだと思います。ところで、皆さんはどのような方法で勉強をしていますか？

中学校を卒業し目指す高等学校へ合格したけれど、高校1年生の半ば頃から成績が徐々に下がってしまう生徒がいます。なぜこのようなことが起こるのでしょうか。その理由は、高校に入学することが目的で、合格するとほとんど勉強しなくなるからという場合と、高校入学を目的とした塾に頼り切り、入学後に自分のやり方で勉強できないという場合が考えられます。いずれにしても高校生活が始まり、自分のやり方で自主的に勉強しなければならない状況になって困ることになります。このような場合、それまでの知識で対応できる間は、多少成績は維持できますが、ストックがなくなり、新しい知識や考え方が必要となると点数が落ちていきます。中学生の時期でも「塾に行っても成績が上がらない」「テスト前の勉強をしっかりとやっているのに点数が取れない」という声は多いです。

そこで、次の①～④で勉強方法について紹介しますので参考にしてください。相性が合う、合わないもあるでしょう。勉強の方法は沢山あり、どの方法がその人にとって一番いい方法かわかりません。生徒の皆さんだけでなく、保護者を含め周りの大人も、本校の教師も同様に、自分の勉強方法を誰もが悩みながら探してきたのです。

① テスト勉強の期間

通常、中間・期末テストは1週間前から試験勉強を始めます。なぜ、1週間前で可能なのかといえ、平常期における勉強(②)と、テスト期間における集中的な勉強(③)を組み合わせることで成果を生むことができるからです。ただし、試験1週間前でも部活動があるなどのイレギュラーなケースはさらに前倒ししてスケジュールを組む必要があります。

② 平常期(通常)は何をするか？

テスト期間中に数学に時間をかけて勉強している生徒は、一般的に定期テストで全体的に良いパフォーマンスを発揮できないといわれることがあります。なぜなら、数学は問題集の繰り返しを前提としており、量も他教科に比べ多く、とても試験前の1週間ではこなせきれず、また仮にこなせたとしても、他の暗記を中心として理解する教科に費やしたほうがいい時間まで使ってしまうからです。そのため、数学を平常期にコツコツをやっておくことが、定期テストでその他の科目も含め高得点をとるためには必要なことなのです。数学については平常時に3回やって間違える部分を集めておき、試験前はそれらを取り組んでいくという方法をとるといいでしょう。

また、各教科のワーク等の問題集については、各単元の復習に活用しましょう。問題集は3回することが原則で、2回目以降は間違いのみを解くのがいいでしょう。人間は新しいことを1回で理解することが難しく、繰り返さないと理解が深まりません。それにもかかわらず、問題集を1回解いただけで終わりにする人が多いのです。それでは高点数はとれませんね。問題集に答えを書いたりせずに、ノート等に答えを記入して繰り返しましょう。

③ テスト期間の集中した学習スケジュール

テスト勉強期間は、全部で3つの段階に分割し、定期テスト前7日間で行なっていきます。

- ・第一段階:教科書の音読、ノートまとめなどの全体をまんべんなく体系的に学習する段階
- ・第二段階:自分でテストしながらインプットする段階
- ・第三段階:最後の確認テストを、前日に重点的に学習する段階

④ 各科目に共通した勉強法

各科目の勉強法も、効果的なものがそれぞれにあります。例として、文系科目では第一段階で音読・黙読作業を必ず5回以上行う。新出単語や新しい知識のインプットを第一段階でやる生徒がいますが、これは、努力の割には点数に結びつかないという現象が起こります。

以上の点を参考に今から来年の学年末テストにむけて、また、高等学校に入学してからの学習習慣のためにも、今から勉強方法を見直してみたいかがでしょうか。